

事業者排出量削減報告書

(宛先) 京都市長		平成26年 7月 16日					
報告者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都中央区銀座2丁目16番10号		報告者の氏名 (法人にあっては、名称及び代表者名) ヤマト運輸株式会社 代表取締役社長 山内 雅喜 電話 03- 3541-3411					
主たる業種	一般貨物自動車運送事業						
事業者の区分	<input type="checkbox"/> ア <input checked="" type="checkbox"/> イ又はウ <input type="checkbox"/> エ						
計画期間	平成23年 4月から平成26年 3月まで						
基本方針	ヤマト運輸株式会社 地球温暖化防止目標						
計画を推進するための体制	京都社会貢献課が中心となる。						
温室効果ガスの排出の量	温室効果ガスの排出の量	基準年度 (20~22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率	
	事業活動に伴う排出の量	4,678.1 トン	4,761.9 トン	4,155.2 トン	4,157.9 トン	-6.8 パーセント	
	評価の対象となる排出の量	4,684.9 トン	4,761.9 トン	4,155.2 トン	4,157.9 トン	-6.6 パーセント	
実績に対する自己評価	京都市内において自転車や台車での業務を促進したため相当効果が表れた。						
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	事業の用に供する建築物の用途	原単位の指標	基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	増減率
	事務所	事業活動に伴う排出の量 (走行距離×1/100)	80.94	80.00	65.64	73.50	-9.75 パーセント
		事業活動に伴う排出の量 ()					パーセント
実績に対する自己評価	京都市内において自転車や台車での業務を促進したため相当効果が表れた。						
重点的に実施する取組の実施状況		基準年度 (22)年度	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考	
		0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン	38.0 トン		
具体的な取組及び措置の内容	(23)年度	電気自動車28台、ハイブリッド車18台、低公害車3台の新規購入及び、一定時間の消灯による節電を実施した。					
	(24)年度	低公害車36台の新規購入及び一定時間の消灯を実施した。					
	(25)年度	低公害車25台の新規購入及び自転車や台車等での集配を促進した。					
通勤における自己の自動車等を使用することを控えさせるために実施した措置	措置の内容	送迎バスのタイヤを見直し、公共交通機関等での通勤を促進した。					
	上記の措置を実施した結果に対する自己評価	想定以上の効果は表れなかった。					
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その他の地球温暖化対策により削減した量	区分	第1年度 (23)年度	第2年度 (24)年度	第3年度 (25)年度	備考		
	森林の保全及び整備によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	地域産木材の利用によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力又は熱の供給によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	グリーン電力証書等の購入によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収の量によるもの	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン			
合計	0.0 トン	0.0 トン	0.0 トン				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	小学6年生を対象とした環境教室を7開催、幼稚園児を対象とした安全・環境教室を14開催実施した。 京都環境フェスティバル2013に出店						
特記事項							

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、レ印の記入は不要です。
 2 「細分類番号」とは、統計法第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産業分類の細分類番号をいいます。
 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前三年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。
 4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均的増加又は減少の割合をいいます。